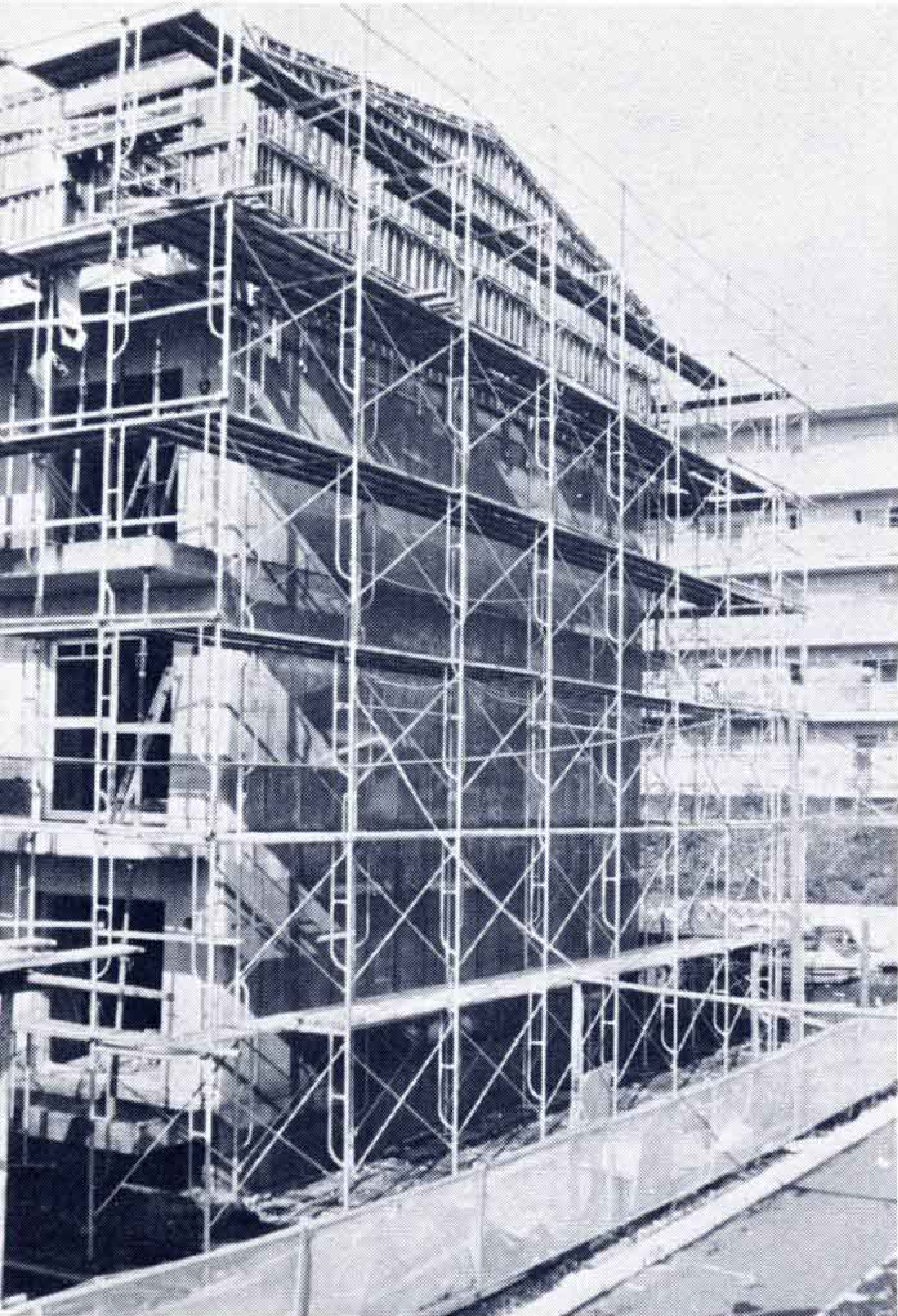


56年度 決算

3550億円

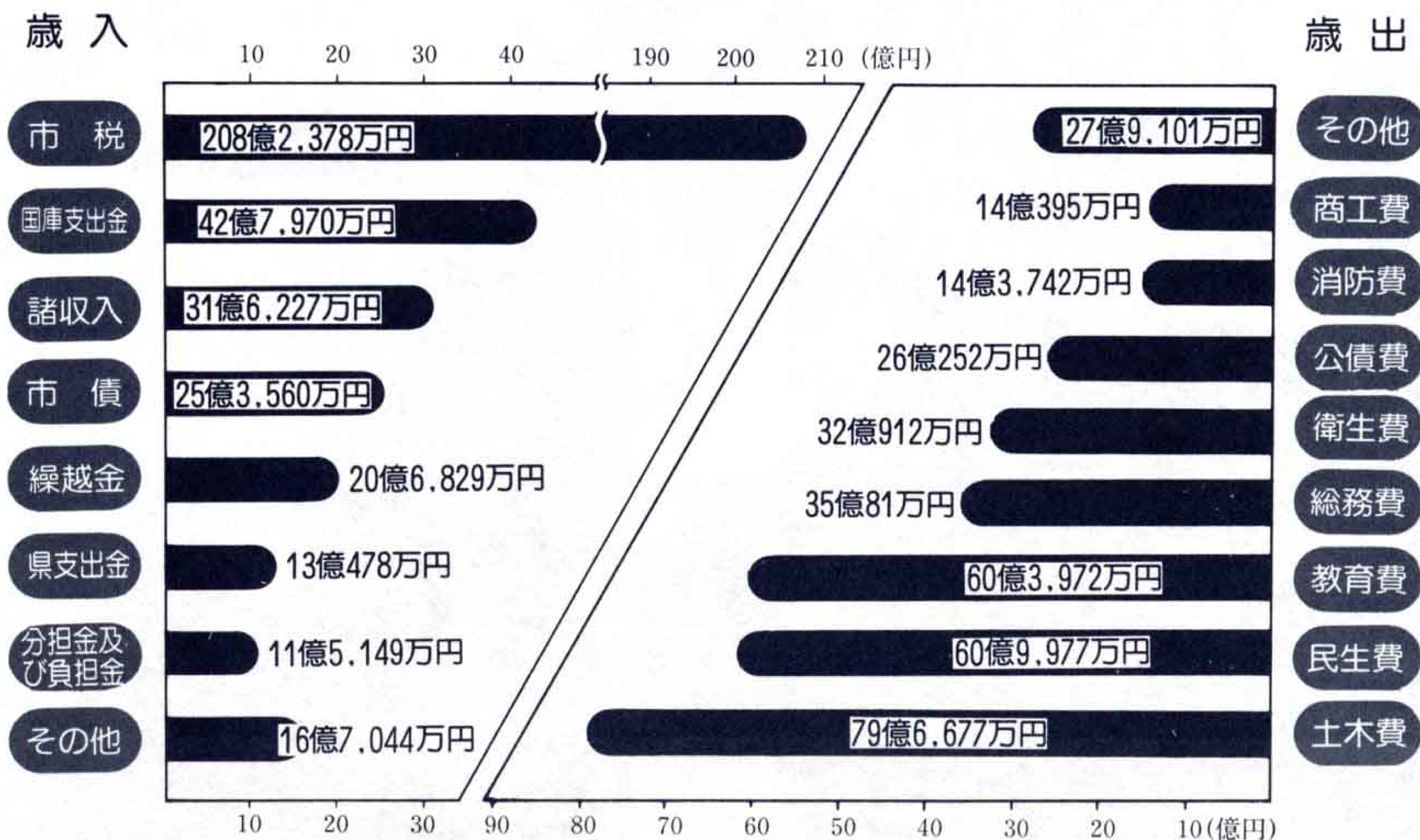


建設中の市営住宅（富士見台）

市は、市民のみなさんに、富士市のお金ややりくりがどのようになっているかを知っていただくため、毎年6月と12月の2回、「富士市の財政事情」を公表しています。今回は、昭和56年度の決算状況と昭和57年度（4月1日から9月30日まで）の財政状況をグラフを使ってお知らせします。

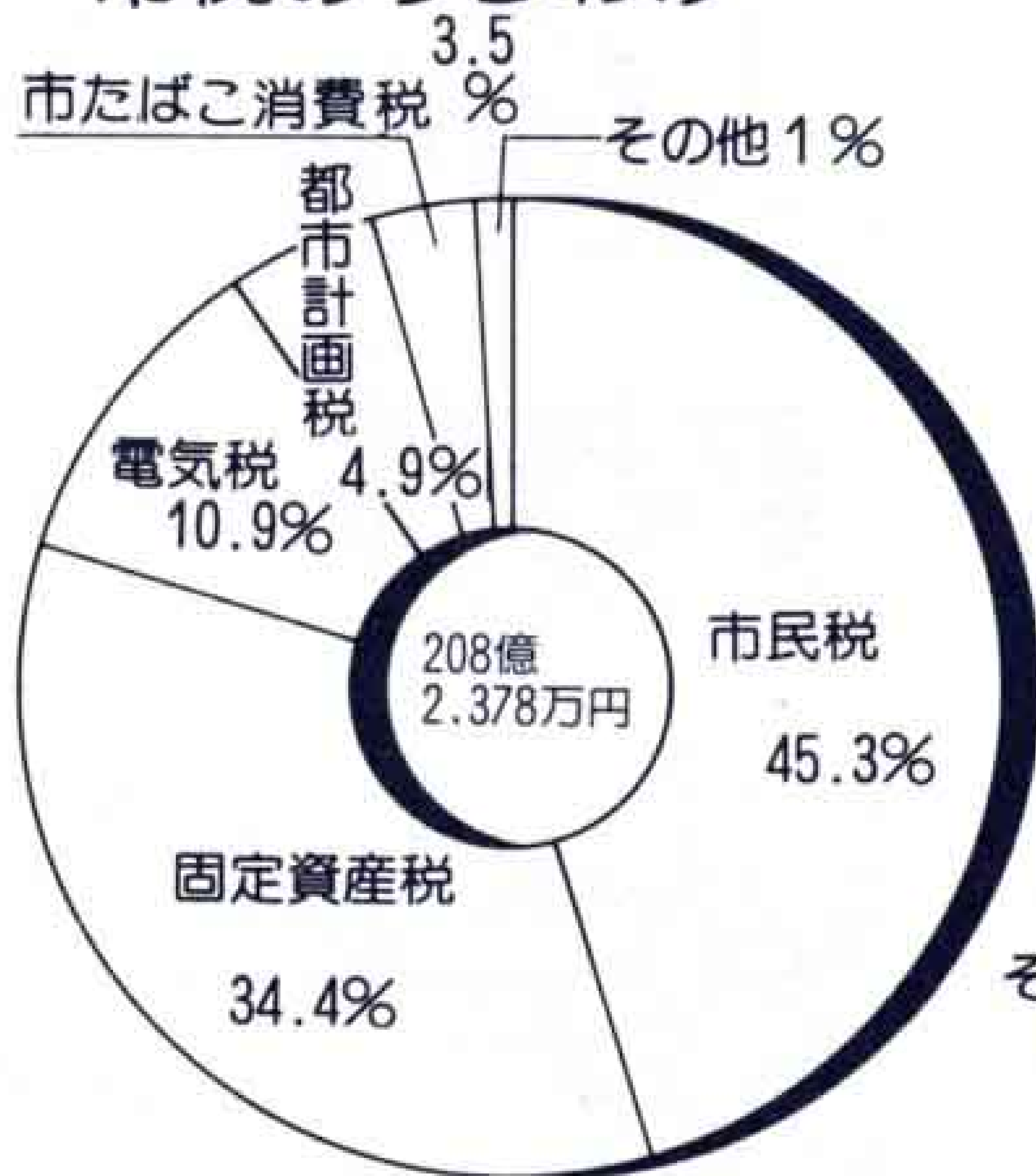
昭和56年度一般会計の決算状況は、歳入合計が369億9,635万円、歳出合計が350億5,109万円でした。前年対比では、歳入が2.9割、歳出が3.4割と低い伸び率を示しました。

昭和56年度一般会計の決算状況

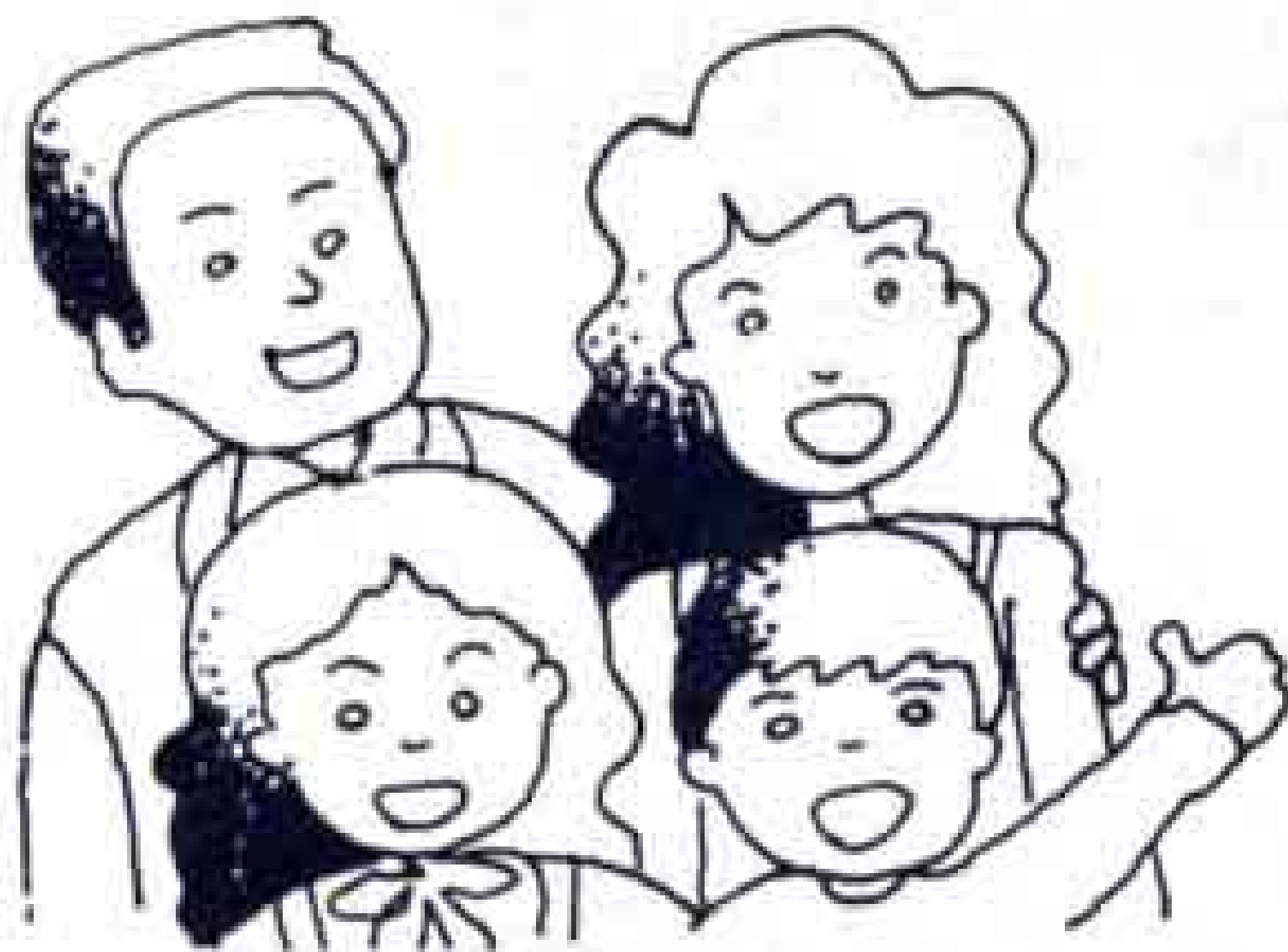


使った市の台所

市税のうちわけ



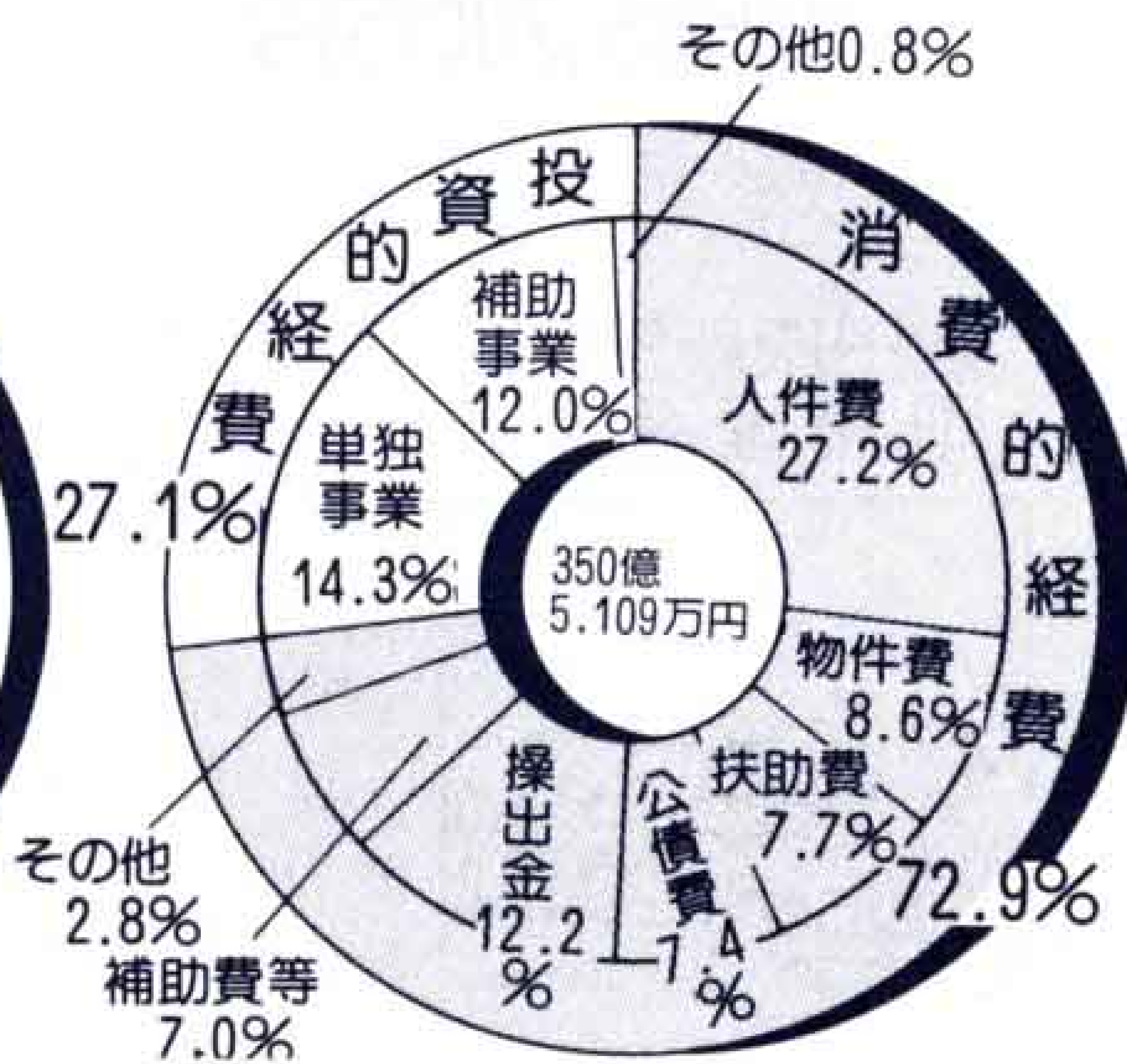
市税負担 1人9万9,129円



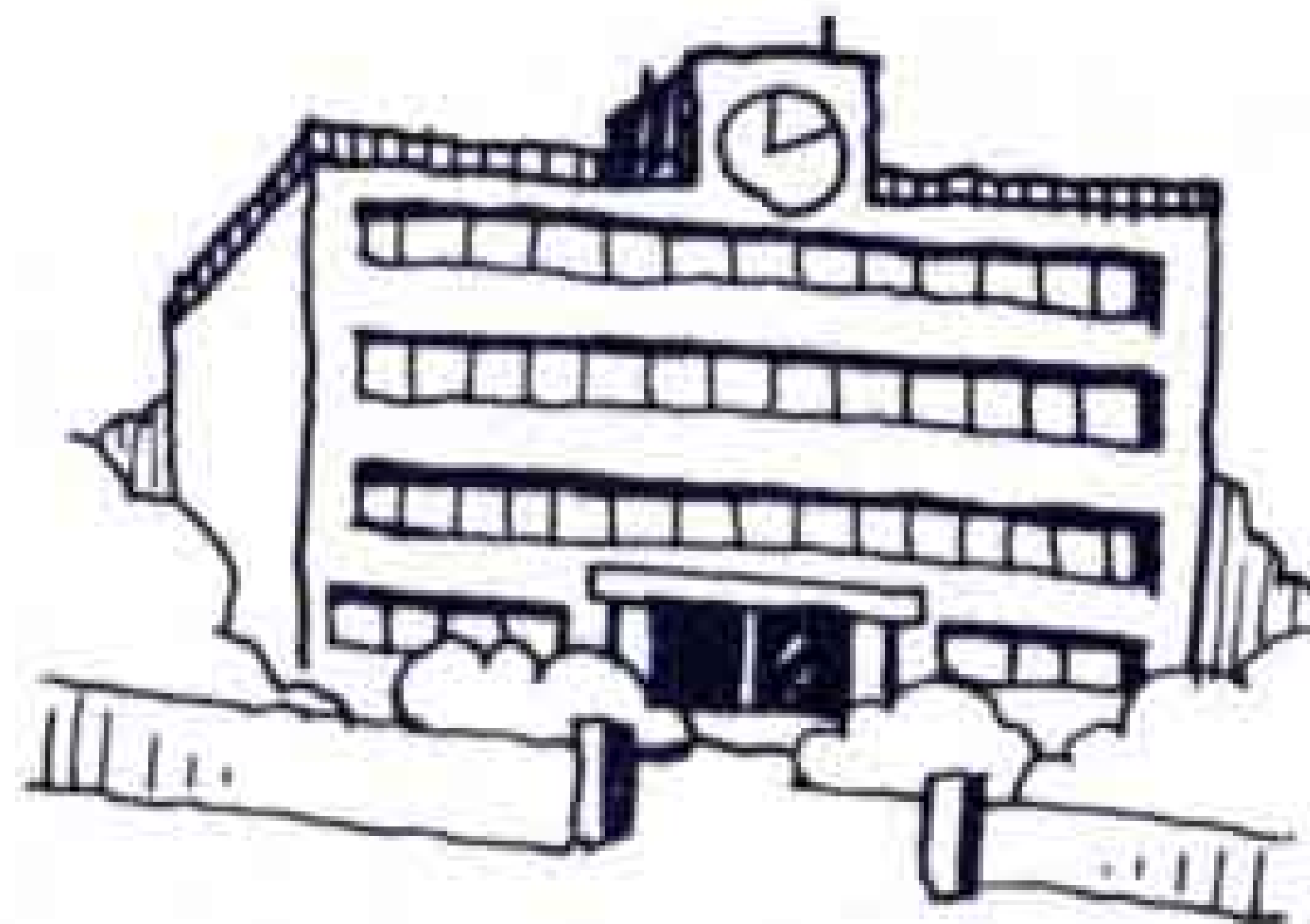
昭和56年度の市税負担状況を見ると、1人あたりの負担額は9万9,129円です。

その主なうちわけは、市民税4万4,894円、固定資産税3万4,082円、電気税1万775円、都市計画税4,862円などです。

性質別歳出のうちわけ



使ったお金は 1人16万6,910円



昭和56年度一般会計の歳出を市民1人あたりにすると、16万6,857円使ったこととなります。

その主なうちわけは、土木費に3万7,925円、民生費に2万9,046円、教育費に2万9,037円、総務費に1万6,665円などです。

市債の状況

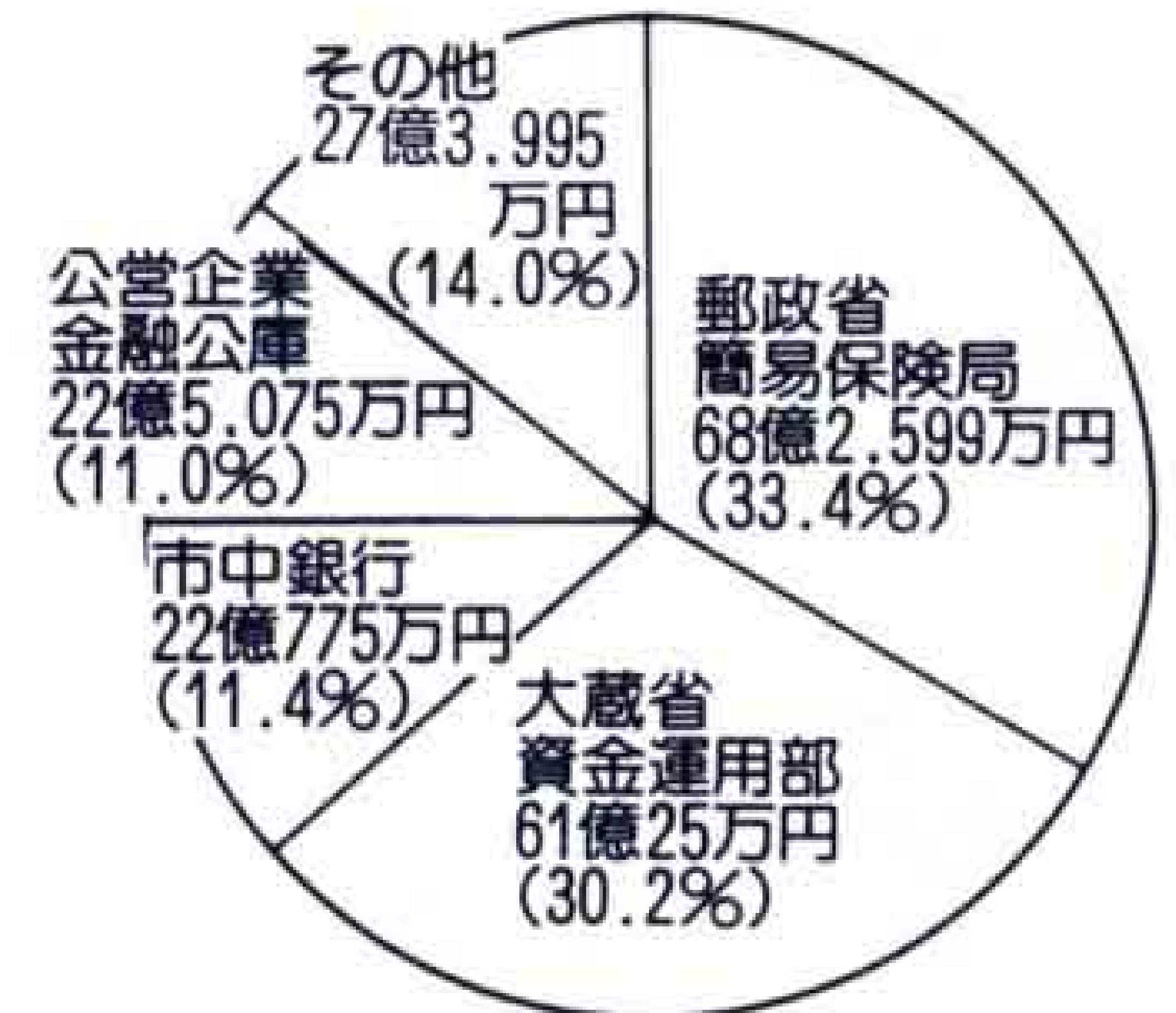
市の借金を市債といいます。道路や学校を造るには、巨額な費用が必要となり、市税や補助金だけでは賄えません。そこで、国や銀行からお金を借ります。

現在の市債をみると次のとおりです。(57.9.30現在)

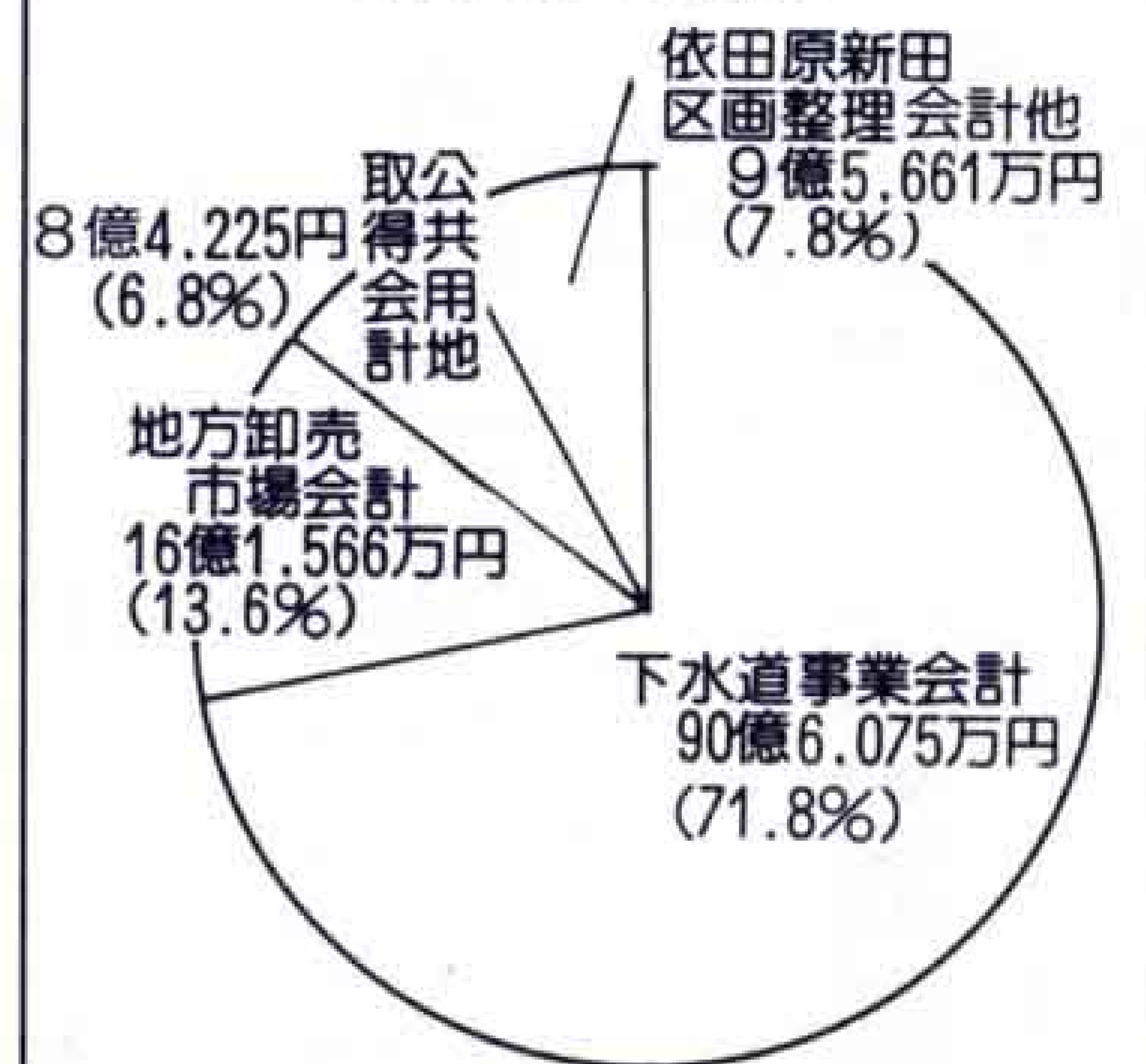
市債総額 398億2,703万円

- ・一般会計 201億2,469万円
- ・特別会計 124億7,527万円
- ・水道会計 50億8,958万円
- ・病院会計 21億3,749万円

一般会計債



特別会計債



市有財産はこれだけあります。

有価証券 2,438万円



土地 4,894万平方メートル



建物 51万2,399平方メートル



立木 18万8,768立方メートル

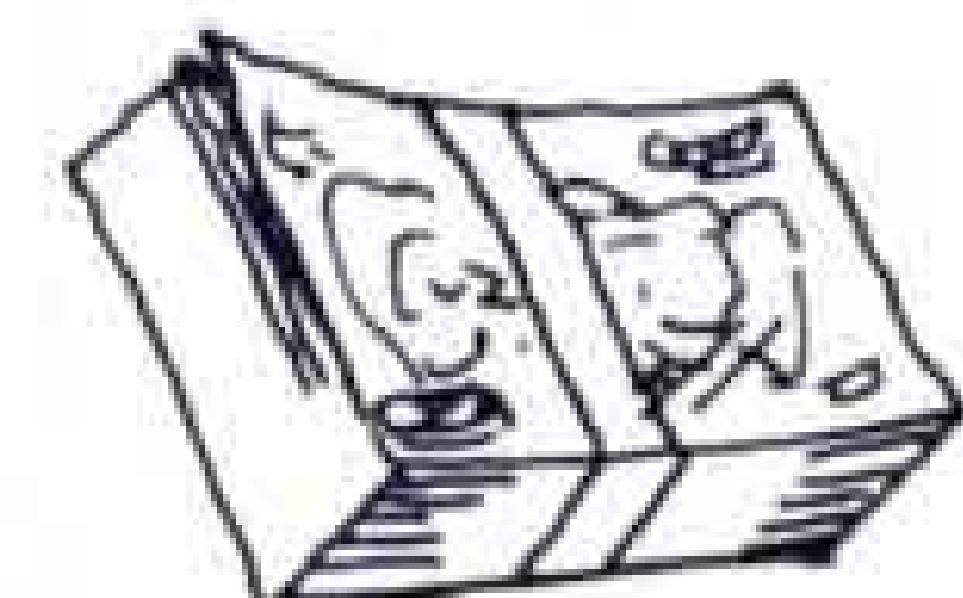


車両 245台



(昭和57年9月30日現在)

基金の現在高 18億4,348万円



基金の主なものは、国保支払準備基金、土地開発基金、総合市民文化会館基金です。

昭和56年度 特別会計 企業会計の決算状況

◎昭和56年度の特別会計・水道事業会計・病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

特別会計

(財産管理等特別会計は省略しました)

歳入総額
126億 400万円

歳出総額
122億5,700万円

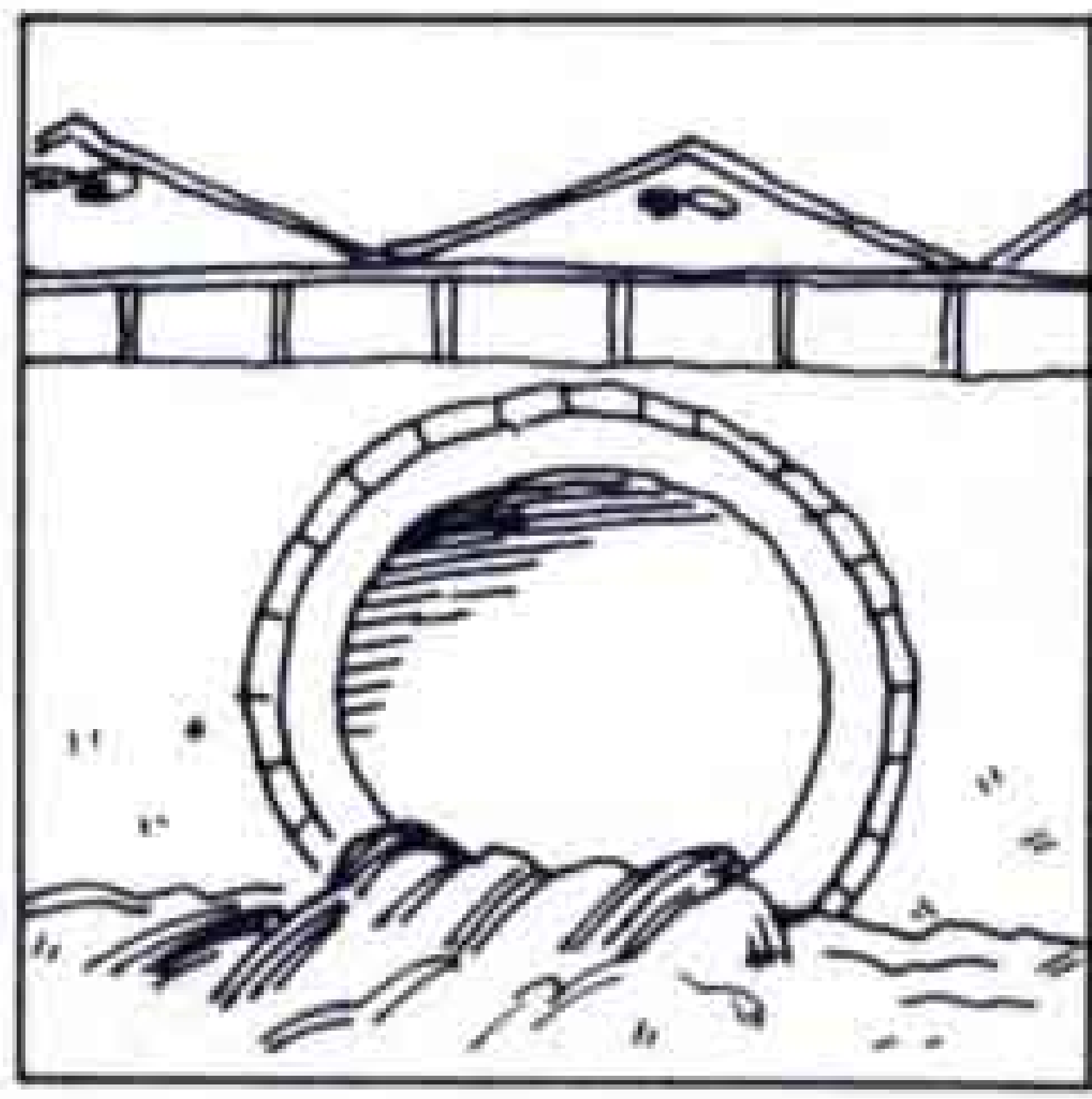
国保会計



歳入
46億 859万円

歳出
45億 779万円

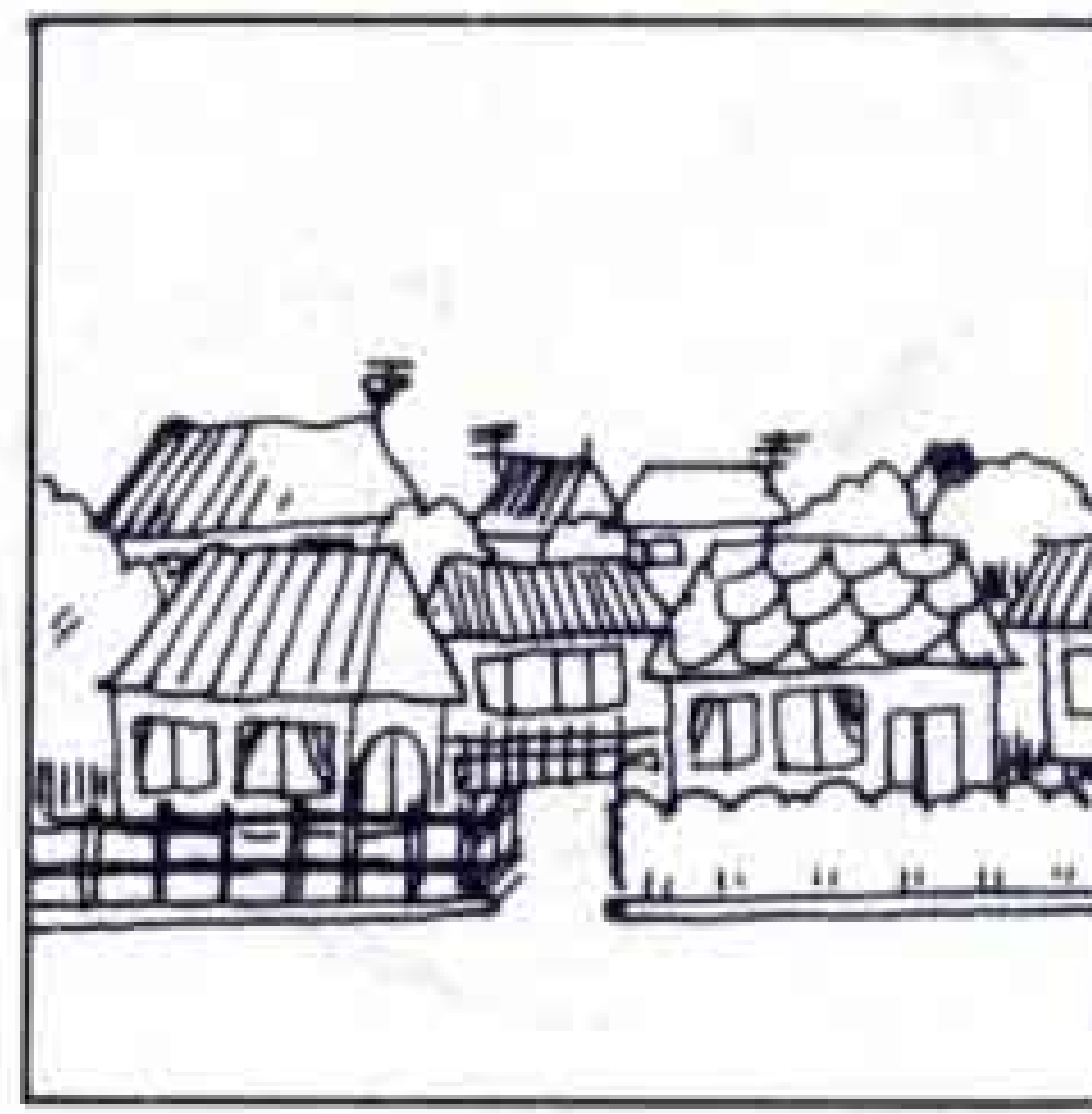
下水道会計



歳入
51億4,298万円

歳出
50億1,475万円

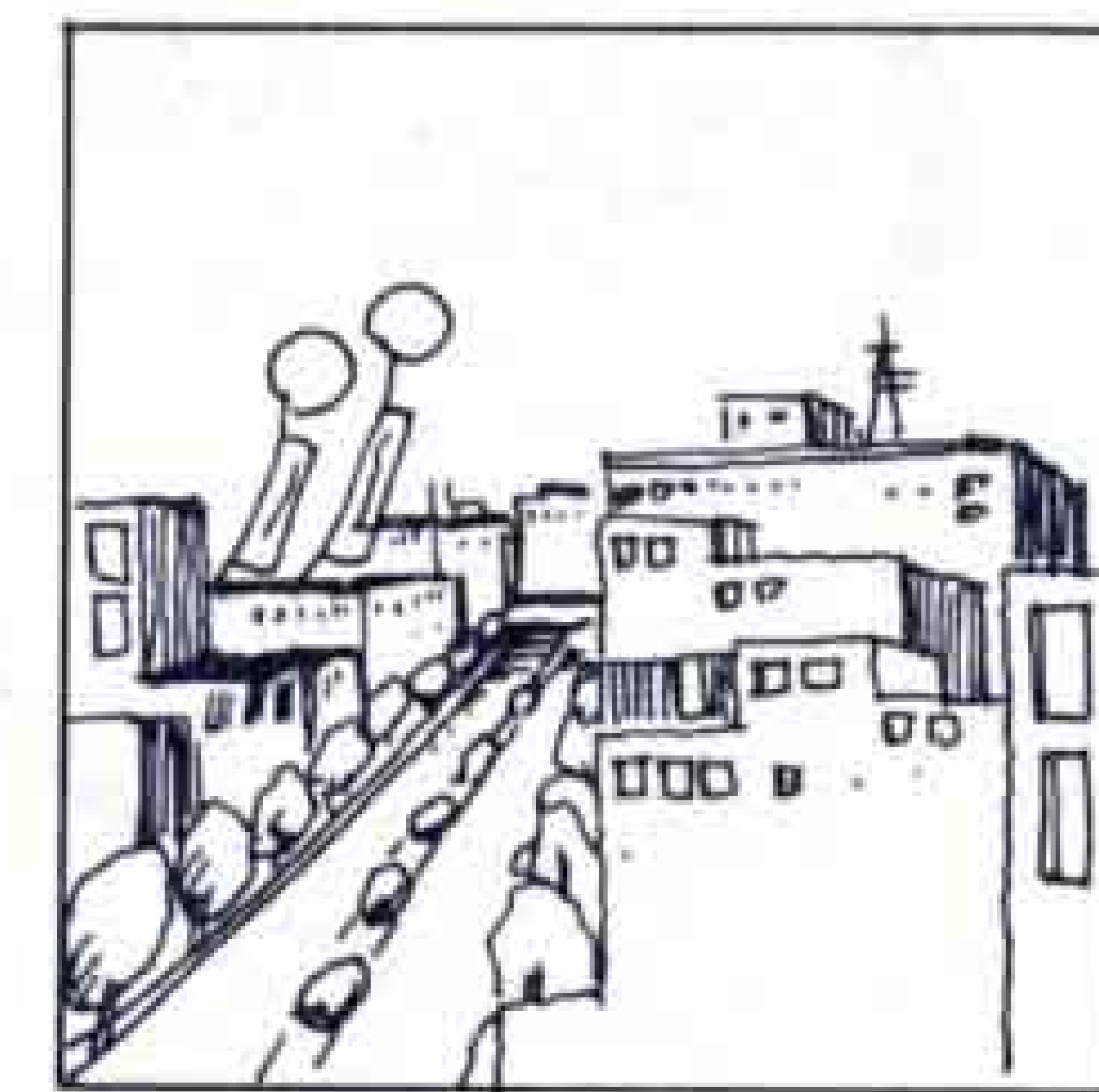
依田原新田区 画整理会計



歳入
8億4,649万円

歳出
8億2,332万円

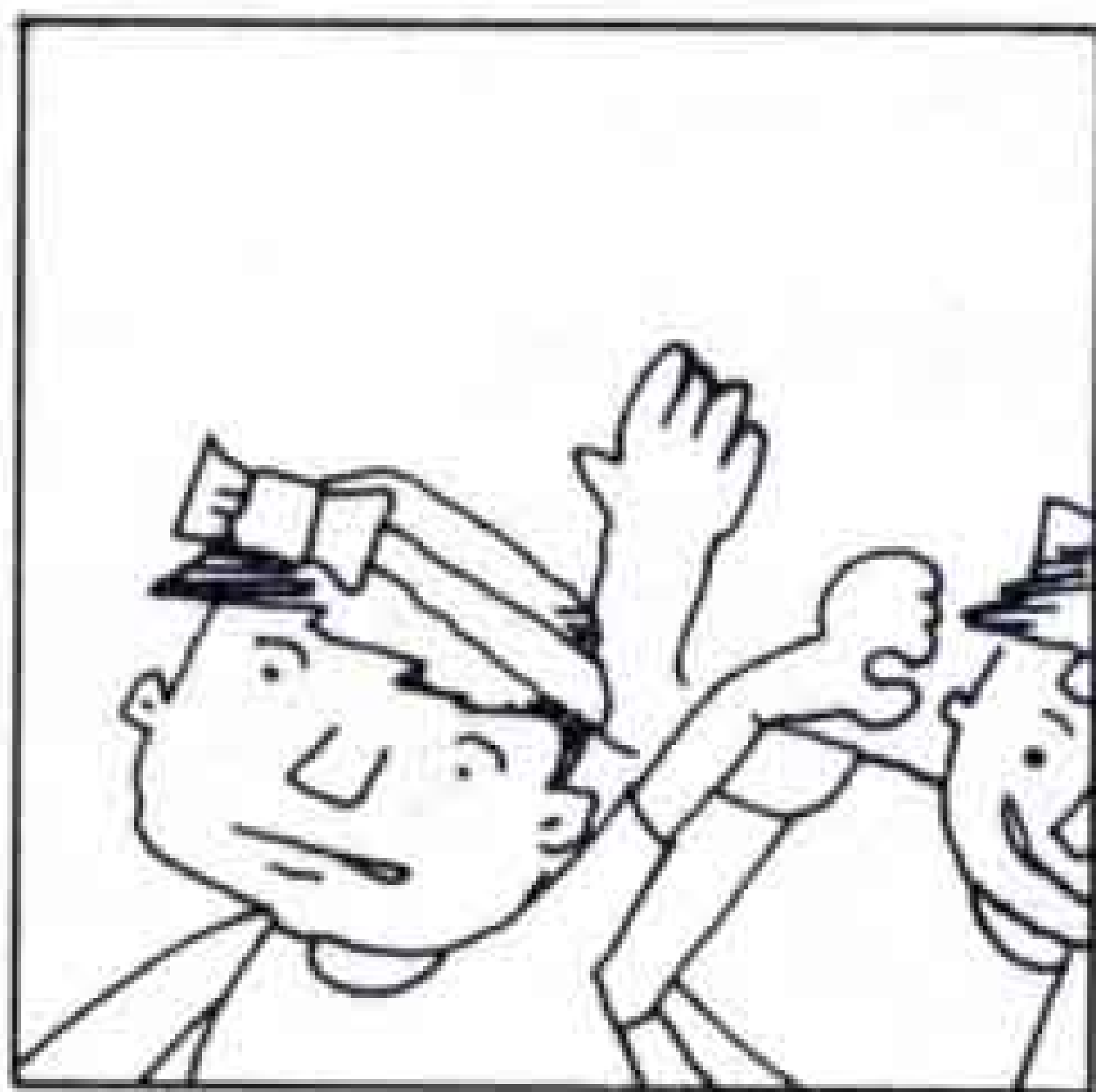
富士中部区画 整理会計



歳入
4億7,043万円

歳出
4億6,680万円

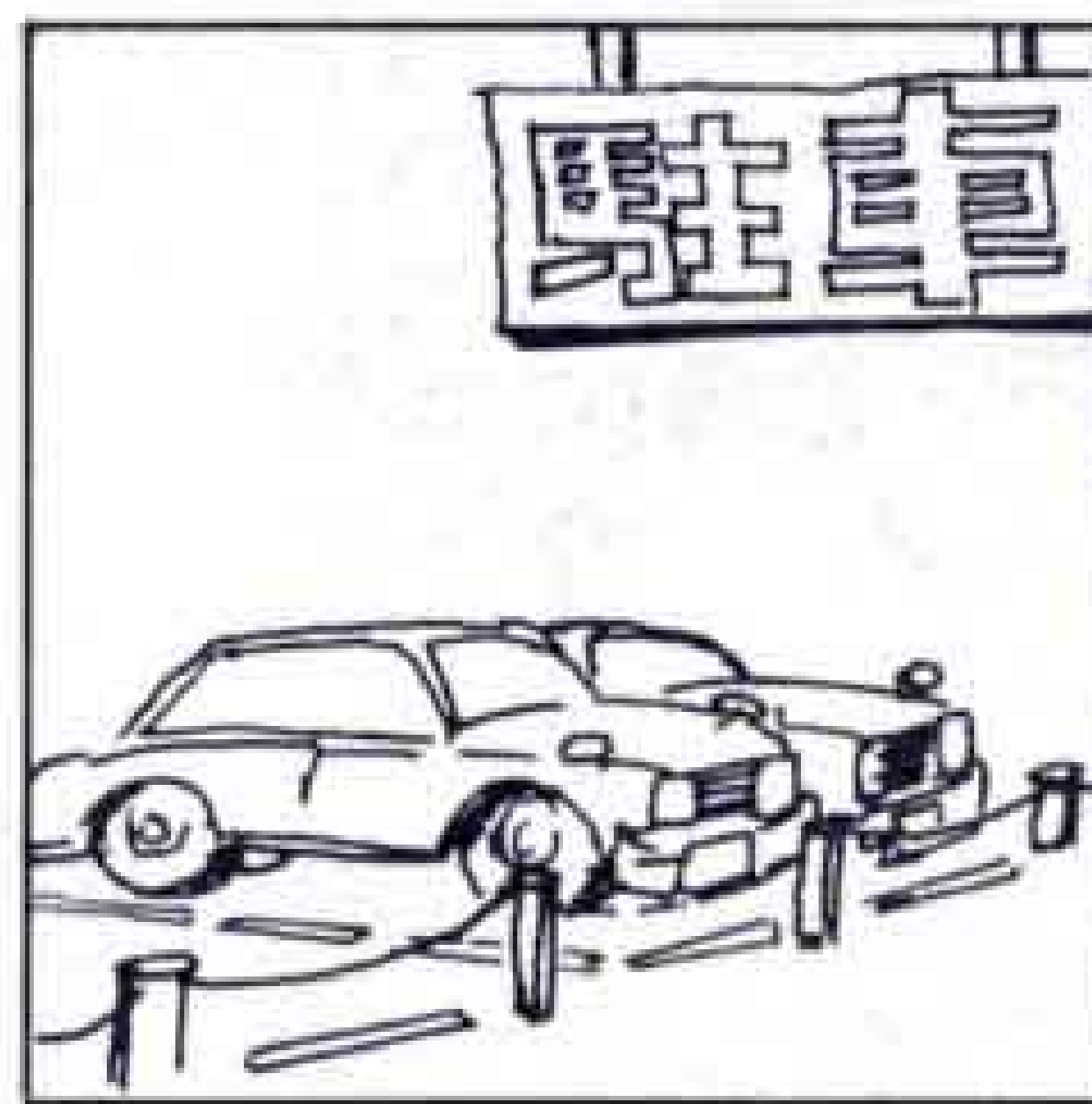
地方卸売 市場会計



歳入
5億6,431万円

歳出
5億6,227万円

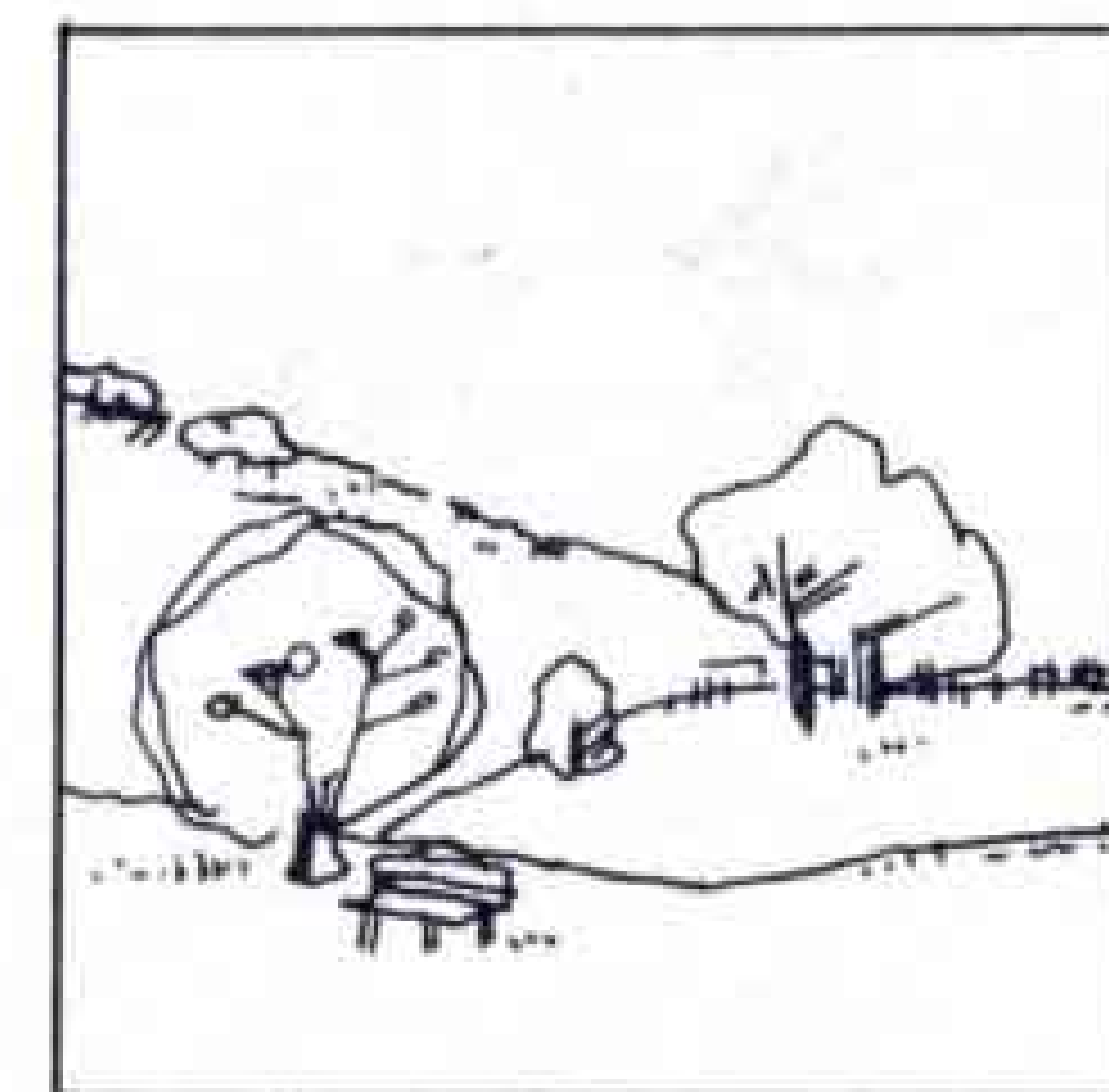
駐車場会計



歳入
6,398万円

歳出
5,871万円

公共用地先行 取得会計

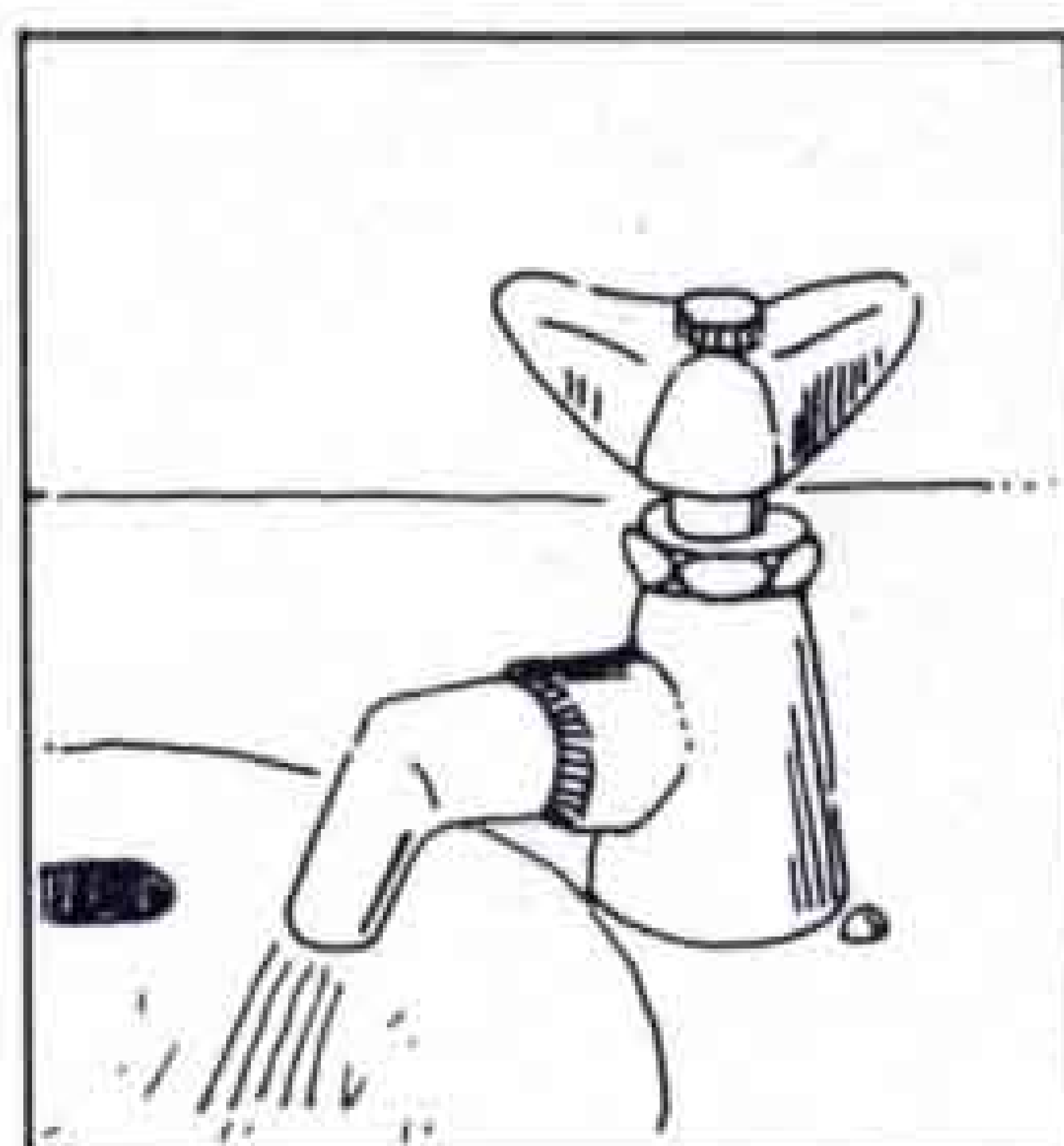


歳入
7億6,690万円

歳出
7億6,668万円

水道事業

収入合計 18億 710万円
 営業収益 16億8,632万円
 営業外収益 1億2,077万円
 特別利益 1万円
 支出合計 18億2,365万円
 営業費用 14億9,025万円
 営業外費用 3億3,340万円



純損失 1,655万円
 総配水量 3,203万
 9,325立方メートル
 1日平均 8万7,779立方メートル
 1日1人平均 481リットル
 (昭和56. 4. 1～57. 3. 31)

病院事業

収入合計 33億7,918万円
 医業収益 28億4,713万円
 医業外収益 5億3,205万円
 支出合計 33億3,819万円
 医業費用 32億6,621万円
 医業外費用 7,198万円
 純利益 4,099万円



但し、一般会計からの補助金1億9,580万円が営業外収益の中に含まれています。
 入院患者 9万6,503人
 外来患者 20万3,321人
 外来1日平均 684人
 (昭和56. 4. 1～57. 3. 31)

57年度予算の状況

新病院建設費に 今年度は 25億円

昭和57年度の予算額は、9月30日現在で、一般会計374億6,690万円、特別会計104億4,600万円、公営企業会計90億9,900万円、総額570億1,190万円になります。

一般会計は、当初予算が362億3,000万円でしたが、その後、2回の追加補正により12億3,690万円が追加されました。

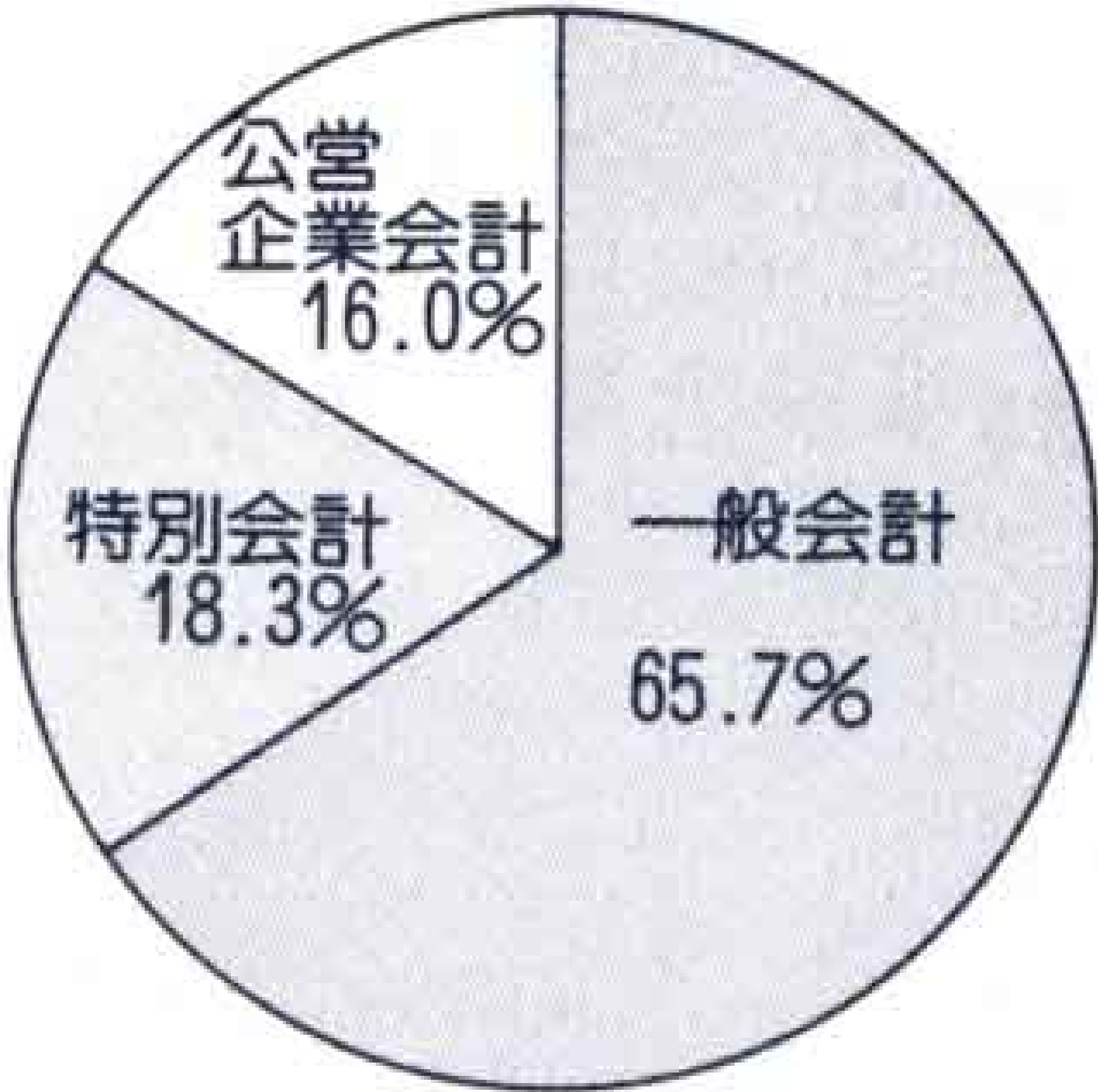
一般会計を前年度と比べると、3.4

倍と低い伸び率を示しています。

特別会計では、下水道事業として東部終末処理場の基本設計と一部管渠の布設費が含まれています。

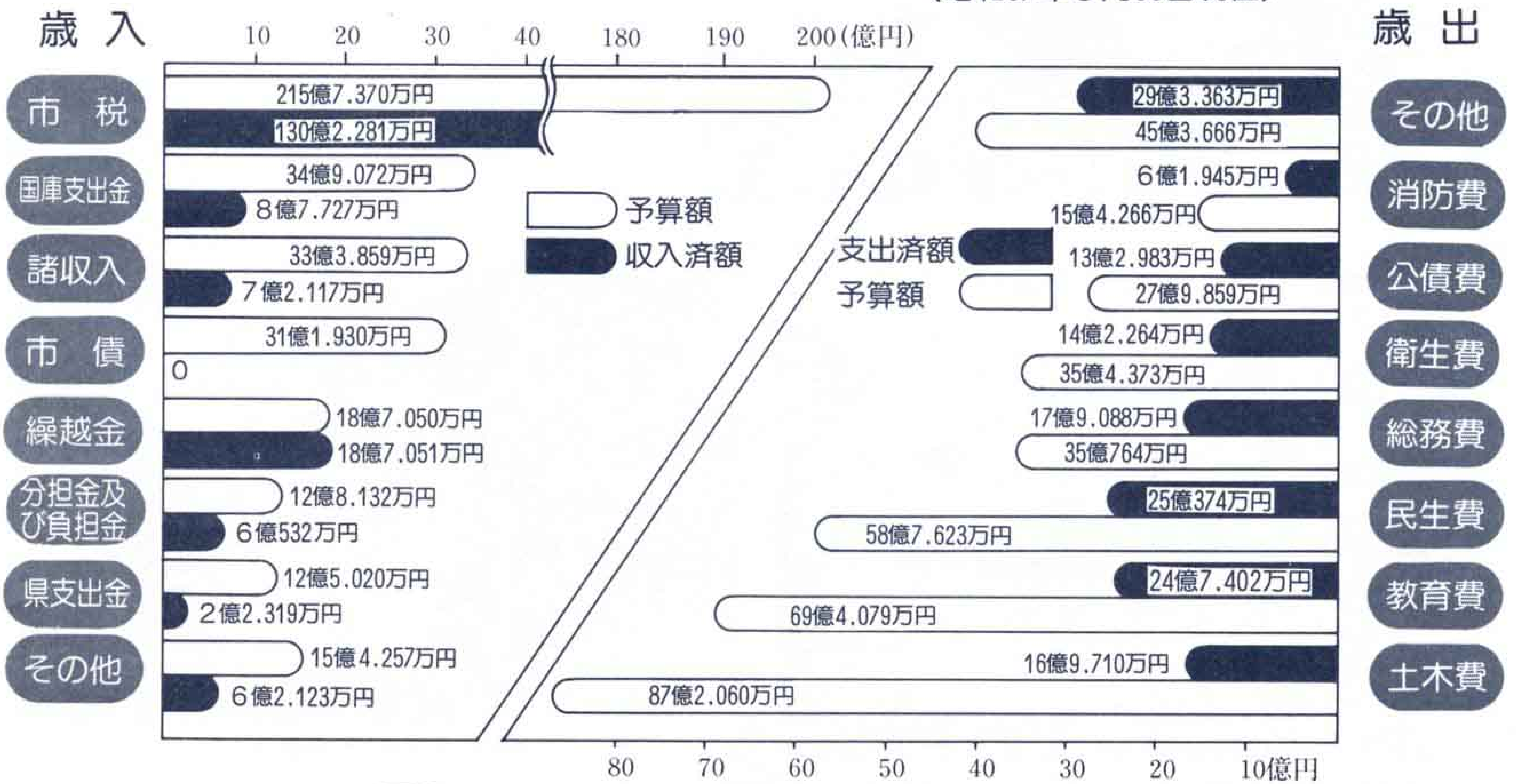
公営企業会計のうちわけは、水道会計が27億1,600万円、病院会計が63億8,300万円です。病院会計には、新病院建設費25億8,000万円が含まれています。なお、病院建設費は、3カ年の継続事業となります。

会計別予算割合

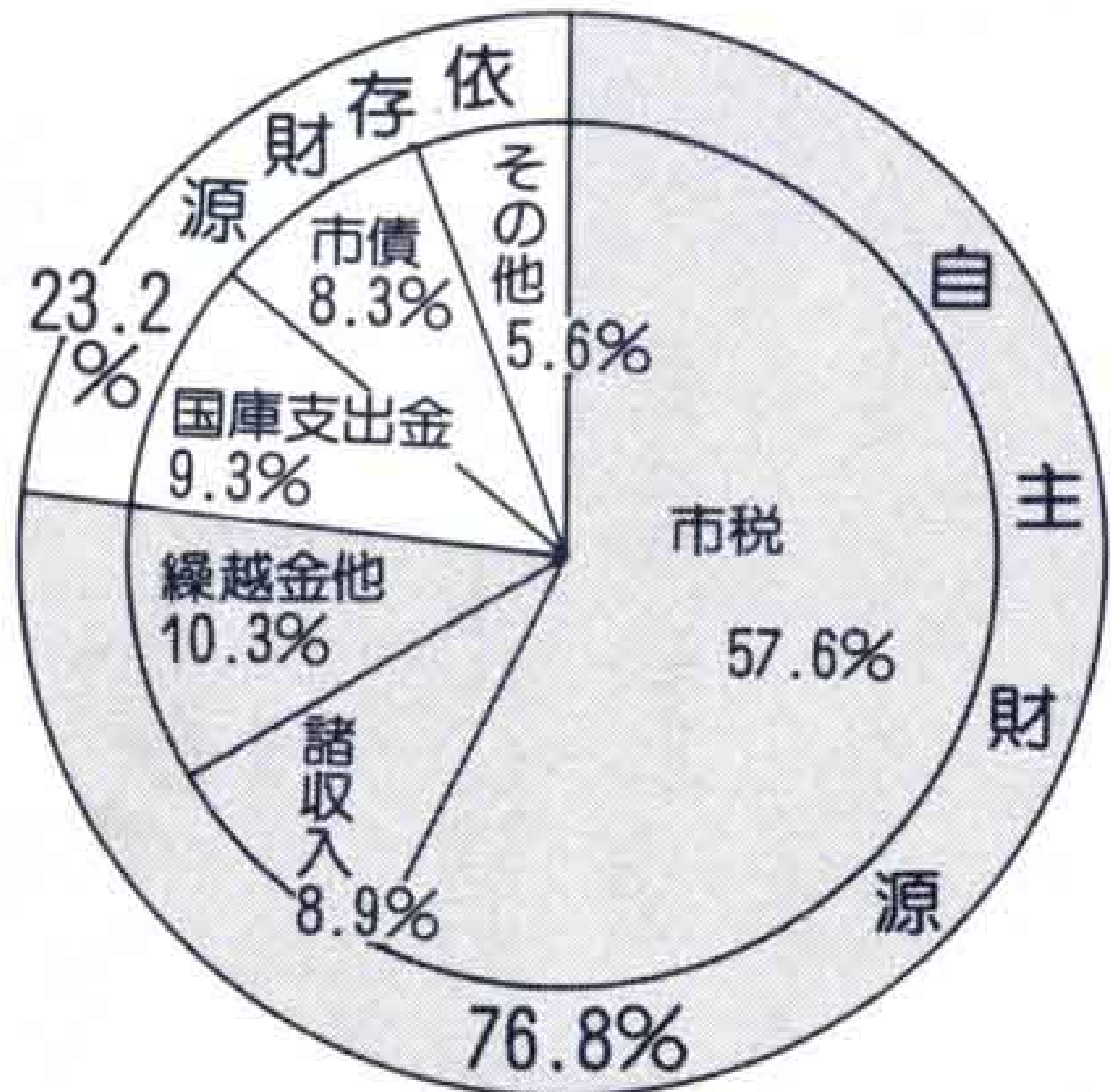


昭和57年度 一般会計の予算及び執行状況

(昭和57年9月30日現在)



歳入の財源別状況



歳出の性質別状況

